

高思若竹会開催

◆3年連続で「ほりのや」にて総会を開催！

鈴木安さんにご紹介いただいた「ほりのや」さん、順天堂OGの実家であることを差し引いても、勉強会を行う研修室、懇親会会場などの施設や、サービスなどを含めたコスパなど、他に候補を見つけることができないことから、今年も使わせていただきました。

・日程 平成30年6月23日（土）16：00集合

竹内さん、久我さん、光永さん、五十嵐さんが、故山本武彦先生の墓参りをしてからの参加ということで、開始時刻をいつもより1時間遅くしての開始としました。（黒谷会長、運転手大変お疲れさまでした。）

今年は、7月以降、猛暑となった今からは、とても結びつかないような涼しい（寒い）総会でした。参加者は23名と、昨年の35名からは大幅に減少しましたが、少ないなりに多くの方とじっくりと話ができ、印象的な総会となりました。

・議事 定例の会計報告のほか、役員改選を行いました。今年から副会長2名体制（齋藤副会長、三浦副会長）となりました。その他の役員の方々も引き続きどうぞよろしくお願い致します。特別講演は、昭和60年卒の平容久さんに「共生社会の実現を目指して」～すべての子供が同じ場所で共に学び、共に育つための取り組み～と題して、特別支援学校の現状と、これからの特別支援教育について、ご講演いただきました。平さんは、県立高校、神奈川県教育委員会、特別支援学校を管理職の立場で歴任され、現在では全国で最も神奈川が進んでいるインクルーシブ教育推進課長としてご活躍されています。今回は、現在担当されている仕事についてご紹介いただきました。障がい児教育は、これまで特別学級や特別支援学校などに集めての教育が行われてきましたが、これからは障がいのあるなしにかかわらず、できるだけ地域の学校、通常の学級で学ぶ「インクルーシブ教育」を目指していくとのことでした。これが地域で共に生きる仕組みづくりにつながっていくことになるとうわたり、とても考えさせられる内容でした。

・懇親会 最後の校歌斉唱で、肩を組むも人数が少なく届かない人も・・・

